

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 4月 1日
研究・研修課題名	感染制御認定薬剤師の新規資格取得に係る必須研修会への参加
研究・研修組織名(所属)	島根大学医学部附属病院・薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	山戸 和美(薬剤部)
研究・研修実施者名(所属)	山戸 和美、望月 優里(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	山戸 和美、望月 優里(薬剤部)
学会名(会期・場所)、認定名等	会名：日本病院薬剤師会 令和2年度感染制御専門薬剤師講習会 会期：(第1回web) 令和2年11月3日 (第2回web) 令和3年2月20日 認定名：日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師
演題名・認証交付元等	日本病院薬剤師会
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

院内における感染対策は、患者のみならず、医療従事者や、面会者等における感染のリスクを最小限にして、患者の治療や医療の安全性を高める非常に重要なものである。薬剤耐性（AMR）対策として抗菌薬適正使用が世界的課題とされていることに加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行が深刻な問題となっている昨今においては、感染制御の専門知識を有する専門職が、院内や地域における感染対策に積極的に関わることが強く求められている。

薬剤師における感染制御の認定資格として「感染制御認定薬剤師」があり、取得には日本病院薬剤師会が主催する「感染制御専門薬剤師講習会」の受講が必須である。同講習会に参加し認定取得を目指すと共に、感染制御の専門かつ最新の知識を修得することによって、当院における感染制御の強化推進に貢献することを目的とする。

②方法

令和2年度感染制御専門薬剤師講習会は下記の日程で実施された。本講習会に薬剤師2名（山戸 和美、望月 優里）が参加し集中講座を受講した。

主催：一般社団法人 日本病院薬剤師会
期間：令和2年11月3日（火）、令和3年2月20日（土）
開催方法：web開催（新型コロナウイルス感染拡大の影響）

③成果

本講習会へ参加することにより感染制御認定薬剤師の申請のための2.75単位が得られ、新規申請するために必要な単位数（10単位）の一部を取得できた。

講習会は下記の内容にて実施された。
○令和2年11月3日（火）10時～17時

「院内感染対策におけるワクチン」

国立がん研究センター中央病院 感染症部 岩田 敏

「医療現場における新型コロナウイルス感染症対策」

聖路加国際病院 QI センター 感染管理室 坂本 史衣

「血液内科領域における感染症診療」

横浜市立大学附属病院 感染制御部 加藤 英明

「抗菌薬適正使用」

国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンター室長 具 芳明

「抗菌薬 TDM の実践」

北里大学 薬学部 薬物動態学教室 小林 昌宏

「消毒薬の基本と適正使用 ～効果的な実践のための戦略～」

東北公済病院 薬剤科 千葉 博暁

○令和3年2月20日(土) 10時～17時

「腹腔内感染症の診断と治療」

聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 國島 広之

「微生物検査の基礎」

東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座 石井 良和

「抗菌薬適正使用」

埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 岡 秀昭

「非結核性抗酸菌症の診断と治療」

慶應義塾大学 医学部 感染症学教室 長谷川 直樹

「新型コロナウイルス感染症の診断と治療」

国立国際医療研究センター 国際感染症センター 忽那 賢志

「バンコマイシンの TDM」

慶應義塾大学 薬学部 薬効解析学講座 松元 一明

本講習会の内容は、感染症治療におけるプロセス評価やバンコマイシン血中濃度解析における最新の知見、抗菌薬の適正使用などであり、より質の高い感染症治療・感染制御の実施に貢献するために必要な情報であった。本内容を薬剤部内で報告することにより部員個々のレベルアップを図った。